



光る知性 豊かな心 強い意志

# 南 中 生

長井市立長井南中学校

令和 4 年 11 月 28 日

校長 赤間 幸生

## 「命」 かけがえのない宝 「命」 宇宙で一番重いもの ～ 誰の「命」も1番 誰の「命」も最高 ～

先日、福岡県で小学6年生が、糸きりばさみで同級生を切りつけた事件。去年は愛知県で中学3年生が、同級生を包丁で刺して殺した事件。いたたまれない事件が話題になるたびに、心が痛みます。



人を殺しては絶対にいけない。絶対に自殺してはいけない。命はかけがえのないもの。命は宇宙で1番の宝物で何よりも重いもの。成績には順番がつきますが、命には順番は付けられません。誰の命も「1番」であり、全員の命が「最高」なのです。こんなことは誰だってわかっていることです。でも、事件を起こす人はわからない状態になっていたのかもしれない。

### 1 わかりやすい言葉で伝える

人は人の中で生きていかなければなりません。だからこそ、大事にして生活していかなければならないのが、「わかりやすい言葉を使って生活すること」です。わかりやすい言葉で会話してほしい、わかりやすい言葉で伝えてほしい、と思っています。言ったつもり、わかったつもり、では伝わりません。「そんなつもりで言ったのではなかった」ということが何と多いことか。



もちろん教員もそのことに努めていきます。「中学生なんだからそれくらいわかるだろう」と思うようなことでも、伝わる人もいれば、何を言っているのかわからないという人もいます。日常の生徒理解に努めるとともに、人権を大事にしながら、誰しものが納得し、実感するようなわかりやすい言葉で伝えるようにしていきます。

## 2 いじめは心に釘を打ち付けること

いじめは何があってもダメなこと。いじめは地獄の苦しみ。いじめは暴力。いじめは狂犬にかまれたようなもの。狂った犬に正しい反論は通用しません。さらにいじめは人の心に釘を打ち付けているようなものです。たとえ釘を抜いても釘の穴は残るのです。ずっと残ります。とんでもないことです。このように人を平気でいじめるような人が、将来幸せになるわけがないのです。



いじめられているとき、周りがみんな自分の敵、誰も信じられないと感じてしまいます。真っ暗な闇の中に一人で座り込んでいるようなものです。そんな中、「味方だよ」という一人がいるかどうか、光と闇の分かれ目です。

## 3 集団の力

そこで集団の力を高めていくことが大事なのです。見て見ぬ振りをする事の無い集団を。見て見ぬ振りは悪を応援することです。もしフラワー長井線のレールの上に石が置いてあったら。「自分が置いたのではないから関係ない」でいいの。脱線事故が起き、けが人や死人が出た場合、「自分のせいではない」「自分は何も悪くない」と言い切れるのか。



池でおぼれている人を見たとき、自分が突き落としたわけではない。だから自分には関係ないと、何もしないでいられるかどうか。助ける、助けはできそうもないから人を呼んでくる、誰かに電話する。などなど何か助ける行動を取るのでしょうか。いじめを見て見ぬ振りは、おぼれている人を見殺しにするのと同じことです。自分には関係ない。とつづやくたびに、自分の人間らしさが削られ、どんどん消えていってしまうのです。

## 4 心友（しんゆう）に

ぜひ「しんゆう」になってほしいと願います。親友という親しい友以上に「心の友」「心を支えられる友」になることを願います。辛く苦しい人にとって、どれだけ支えになるか。どれだけ心を持ち上げられる勇気になるか。「心友」（しんゆう）の存在になってほしい、なりたい、と強く思います。

